

1. 都市公園整備状況

(平成 27 年 3 月末時点)

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
5 所	226,500 m ²	3.99 m ² /人

2. 計画期間 [平成 28 年度 ~ 平成 37 年度 (10 箇年)]

3. 計画対象公園

① 種別別箇所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩衝	都緑	その他	合計
			1									1

② 選定理由

施設の設置、更新等から年数が経過し、老朽化による維持管理費の増加が見込まれる公園を対象とする。

4. 計画対象公園施設

① 対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
—	—	3	—	12	—	3

管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
132	—	1	151

② これまでの維持管理状況

・経過年数 平成 8 年に開設以来 19 年を迎える施設を中心に処分制限期間を過ぎる施設が 36% を占めるが、他の施設も大半がここ 1~2 年で期間を過ぎる状況にある。施設の状況は、劣化度 c 以上が 11 施設、8.6% に達し、ほとんどが b レベルと判定され金属の錆に留意が求められる状況といえる。また、美感的な劣化度がかなり進んでいる状況である。

・維持管理 指定管理者制度を適用し、通常の定期点検に加え、安全監視等を定期的を実施し、必要に応じて修繕等を実施している。

(備考) 経過年数、これまでの維持管理状況、施設の劣化の可能性を記述

③ 選定理由

・指針に準じて予防保全管理に適した施設の抽出を行い、長寿命化に資する。

5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要

- ・点検結果の概要は、次の通りとなる。
総合判定;A 3(2%)、B 137(91%)、C 5(3%)、D 6(4%) となる。
- ・点検方法は、「公園施設長寿命化計画指針(案) (H24年)、同健全度調査・判定事例集(H24年)等によって実施した。
- ・設置後の経過年数が19年後のタイミングで調査を実施したため、処分制限期間を超えて利用される施設が今後急激に増加する状況にある。

(備考)点検調査実施時期・期間、点検調査方法、点検調査結果の概要(公園施設の健全度に関する全般的状況を記述

6. 日常的な維持管理に関する基本的方針

- ・公園施設全般について、施設の機能の以上の有無を的確に捉えるため、主として目視による日常点検を実施する。
- ・異常が確認された場合は、必要に応じて使用禁止等の措置をとった上で、修繕方法を検討し、適切な対策を講じる。

(備考)公園施設の種類に応じた日常点検や定期点検ごとの点検実施体制、点検方法などの基本的な方法を記述

7. 公園施設の長寿命化のための基本方針

- ・健全度調査の結果より、緊急度「高」と判定された施設を優先して補修・更新を行う。
- ・緊急度「中」と判定された施設についても、早期の長寿命化対策を実施することで、施設の延命化を図る。
- ・5年に1回の健全度調査を実施し、施設の劣化損傷状況を確認する。

(備考)点検調査により把握した健全度を踏まえた、公園施設長寿命化のための基本的な方法を記述

8. 都市公園個別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期など
※別添「公園施設長寿命化計画調書」(様式1「総括表」、様式2「都市公園別」、様式3「公園施設種別別現況」による

- ・建築施設では比較的早く顕在化している外壁の劣化に対する保護対策を中心に取り組む。
- ・塗装の老朽化が激しい照明灯の塗装を早期に実施し、合わせて省エネ機器への転換に取り組む。
- ・施設の利用環境を目標水準以上に維持することによって、利用促進も念頭に計画を推進する。
- ・ストックマネジメントに対応できる情報管理を図りながら、公園を中心に他の公共施設とも連携したより適切な維持管理計画を進める。

9. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

・一般施設、土木構造物	115千円/年
・建築施設	945千円/年
合計	1,060千円/年

(備考)ライフサイクルコストの縮減額などを記述

(様式1) 公園施設長寿命化計画調書 (総括表・平準化)

一般施設

公園名	供用年度	長寿命化を実施する公園施設	主な公園施設			長寿命化対象公園施設数	年次計画(費用)										単年度あたりのライフサイクルコスト縮減額(千円)	
			設置年度	経過年数	処分制限期間など		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37		
峰山総合公園	H8	Bエリア バックネット・ファールポール-R.L・スコアボード操作盤・コンクリート擁壁-1,2,3	H5~H10	17年~20年	15年,50年	7	0	0	0	0	361	1,332	0	0	0	0	167	155
"	"	Gエリア サブグラウンド照明-1,2,3,4,5,6,7,8	H10	17年	18年	8	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	24	24
"	"	Mエリア 駐車場照明灯-1,2,3,4・引込柱-2	H15	12年	18年	5	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	15	12
"	"	Pエリア 洋風四阿-1・シェルター-1,2・公園灯D-1~13・園路照明ML-1~37・フットライトFL-1~14・引込柱-1・地下通路-1	H8~H15	12年~19年	18年,48年,50年	69	0	3,523	276	1,697	78	350	375	0	0	0	174	113
"	"	Tエリア テニスコート照明-1~27・テニスコート練習コート壁・コンクリート4,5,6,7	H9,H10	17年,18年	18年,50年	32	0	0	253	10,800	10,910	2,205	0	0	0	0	201	-189
						121	0	3,523	529	12,497	11,388	3,887	375	0	0	0	581	115

公園箇所数計(一般施設)

概算費用合計: 32,780

建築

公園名	供用年度	長寿命化を実施する公園施設	主な公園施設			長寿命化対象公園施設数	年次計画(費用)										単年度あたりのライフサイクルコスト縮減額(千円)	
			設置年度	経過年数	処分制限期間など		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37		
峰山総合公園	H8	建築 スコアボード・バックスクリーン・倉庫・プロバン庫1(本部棟前),2(本部棟前)・本部棟(ダッグアウト、内野観覧席含む)・屋外トイレ・トイレ付器具庫	H4~H15年	12年~23年	30年~75年	8	131,448	0	11,079	0	763	6,172	448	0	0	0	1,815	945
						8	131,448	0	11,079	0	763	6,172	448	0	0	0	1,815	945

公園箇所数計(建築)

概算費用合計: 151,725

合計

公園名	供用年度	長寿命化を実施する公園施設	主な公園施設			長寿命化対象公園施設数	年次計画(費用)										単年度あたりのライフサイクルコスト縮減額(千円)	
			設置年度	経過年数	処分制限期間など		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37		
峰山総合公園	H8					129	131,448	3,523	11,608	12,497	12,151	10,059	823	0	0	0	2,396	1,060

公園箇所数計(施設+建築)

概算費用合計: 184,505

(様式2) 公園施設長寿命化計画調査 (都市公園別)

■更新施設

エリア: P-3 公園名: 峰山総合公園(近隣公園) 供用年月: 平成8年3月

公園施設種類	公園施設名	具体的施設名称	規模等	主要部材	設置年度	経過年数	処分制限期間など	健全度調査			管理類型	長寿命化に向けた具体的対策 (点検方法、対策内容、改築・更新の考え方等)	平準化後 対策を踏まえた 更新見込み年度	対策内容(改築・更新含む)・時期																
								年度	劣化度	劣化状況				緊急度	維持保全	補修	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37				
管理施設	一般施設A	園路照明 ML-17	1基	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	支柱の塗装の劣化が激しく生じている。	低	予防	通常の定期点検を実施(1回/5年)。目視を主体とする日常点検及び市民通報制度などを整備する。修繕の必要が認められる施設は、応急的な処置を行う。	支柱部分の再塗装を7年目(H34年)に実施する。	H51								3		25					3
"	"	園路照明 ML-18	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H51								3		25					3
"	"	園路照明 ML-19	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H51								3		25					3
"	"	園路照明 ML-20	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	d	"	高	予防	"	劣化が激しく、1~2年目(H28~29年)に更新を実施する。	H29		689													
"	"	園路照明 ML-21	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	d	"	中	予防	"	劣化が激しく、1~2年目(H28~29年)に更新を実施する。	H29		689													
"	"	園路照明 ML-22	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	"	低	予防	"	支柱部分の再塗装を7年目(H34年)に実施する。	H51								3		25					3
"	"	園路照明 ML-23	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H51								3		25					3
"	"	園路照明 ML-24	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	d	"	高	予防	"	劣化が激しく、1~2年目(H28~29年)に更新を実施する。	H29		689													
"	"	園路照明 ML-25	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	d	"	高	予防	"	劣化が激しく、1~2年目(H28~29年)に更新を実施する。	H29		689													
"	"	園路照明 ML-26	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	"	低	予防	"	支柱部分の再塗装を7年目(H34年)に実施する。	H51								3		25					3
"	"	園路照明 ML-27	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	c	"	中	予防	"	支柱には再塗装を行い、灯具の交換(LED化)を4年目(H31年)に実施する。	H51										287					3
"	"	園路照明 ML-28	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	c	"	中	予防	"	"	H51										287					3
"	"	園路照明 ML-29	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	d	"	高	予防	"	劣化が激しく、1~2年目(H28~29年)に更新を実施する。	H29		689													
"	"	園路照明 ML-30	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	"	中	予防	"	支柱部分の再塗装を6年目(H33年)に実施する。	H51										25					3
"	"	園路照明 ML-31	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	c	"	中	予防	"	支柱には再塗装を行い、灯具の交換(LED化)を4年目(H31年)に実施する。	H51										287					3
"	"	園路照明 ML-32	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	"	中	予防	"	支柱部分の再塗装を7年目(H34年)に実施する。	H51								3		25					3
													計	0	3,445	0	861	21	25	175	0	0	33							

※「公園施設種類」には、都市公園法第二条第二項で規定する施設名称を記す。「園路及び広場」、「修景施設」、「休養施設」、「遊戯施設」、「運動施設」、「教養施設」、「便益施設」、「管理施設」、「その他の施設」
 ※「公園施設名」には、都市公園法第二条第二項及び同法施行令第五条、同法施行規則第一条の二で規定する施設名称を記す。「日陰たな」、「休憩所」、「ベンチ」、「ぶらんこ」、「滑り台」、「野球場」、「体験学習施設」、「便所」、「備蓄倉庫」等

概算費用合計(千円): 4,560

(様式2) 公園施設長寿命化計画調査 (都市公園別)

■更新施設

エリア: P-4 公園名: 峰山総合公園(近隣公園) 供用年月: 平成8年3月

公園施設種類	公園施設名	具体的施設名称	規模等	主要部材	設置年度	経過年数	処分制限期間など	健全度調査			管理類型	長寿命化に向けた具体的対策 (点検方法、対策内容、対策・更新の考え方等)	平準化後 対策を踏まえた 更新見込み年度	対策内容(改築、更新含む)・時期														
								年度	劣化度	劣化状況				緊急度	維持保全	補修	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37		
管理施設	一般施設A	園路照明 ML-33	1基	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	支柱の塗装の劣化が激しく生じている。	中	予防	通常の定期点検を実施(1回/5年)。目視を主体とする日常点検及び市民通報制度などを整備する。修繕の必要が認められる施設は、応急的な処置を行う。	支柱部分の再塗装を7年目(H34年)に実施する。	H51						3		25					3
"	"	園路照明 ML-34	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53						3		25					3
"	"	園路照明 ML-35	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53						3		25					3
"	"	園路照明 ML-36	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53						3		25					3
"	"	園路照明 ML-37	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53						3		25					3
"	"	フットライト FL-1	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	機能的には問題はなく、構造的には健全な状態である。	低	予防	"	計画期間中に何らかの対応する必要がなく、経過観察の後対応を検討する	H51						3							3
"	"	フットライト FL-2	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	d	灯具なし	高	予防	"	据え替えを2年目(H29年)に実施する。	H51		78				3							3
"	"	フットライト FL-3	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	機能的には問題はなく、構造的には健全な状態である。	低	予防	"	計画期間中に何らかの対応する必要がなく、経過観察の後対応を検討する	H51						3							3
"	"	フットライト FL-4	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H51						3							3
"	"	フットライト FL-5	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H51						3							3
"	"	フットライト FL-6	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	c	基礎にぐらつきが生じている。	中	予防	"	据え替えを3年目(H30年)に実施する。	H51			50										3
"	"	フットライト FL-7	"	金属(スチール)	H8	19年	18年	H27	b	機能的には問題はなく、構造的には健全な状態である。	低	予防	"	計画期間中に何らかの対応する必要がなく、経過観察の後対応を検討する	H51						3							3
"	"	フットライト FL-8	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53						3							3
"	"	フットライト FL-9	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53						3							3
"	"	フットライト FL-10	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53						3							3
"	"	フットライト FL-11	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53						3							3
													計	0	78	50	0	45	0	125	0	0	48					

※「公園施設種類」には、都市公園法第二条第二項で規定する施設名称を記す。「園路及び広場」、「修景施設」、「休養施設」、「遊戯施設」、「運動施設」、「教養施設」、「便益施設」、「管理施設」、「その他の施設」
 ※「公園施設名」には、都市公園法第二条第二項及び同法施行令第五条、同法施行規則第一条の二で規定する施設名称を記す。「日陰たな」、「休憩所」、「ベンチ」、「ぶらんこ」、「滑り台」、「野球場」、「体験学習施設」、「便所」、「備蓄倉庫」等

(様式2) 公園施設長寿命化計画調査 (都市公園別)

エリア: T-2 公園名: 峰山総合公園(近隣公園) 供用年月: 平成8年3月

公園施設種類	公園施設名	具体的施設名称	規模等	主要部材	設置年度	経過年数	処分制限期間など	健全度調査			管理類型	長寿命化に向けた具体的対策 (点検方法、対策内容、改築・更新の考え方等)	平準化後 対策を踏まえた 更新見込み年度	対策内容(改築、更新含む)・時期															
								年度	劣化度	劣化状況				緊急度	維持保全	補修	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37			
運動施設	管理施設	テニスコート照明T-17	1基	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	支柱は健全な状態であるが、灯具に錆が激しく生じている。	低	予防	通常の定期点検を実施(1回/5年)。目視を主体とする日常点検及び市民通報制度などを整備する。修繕の必要が認められる施設は、応急的な処置を行う。	灯具の交換(LED化)を5年目(H32年)に実施する。	H53						600								3
"	"	テニスコート照明T-18	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53						600								3
"	"	テニスコート照明T-19	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	灯具の交換(LED化)を4年目(H31年)に実施する。	H53				600									3	
"	"	テニスコート照明T-20	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53				600									3	
"	"	テニスコート照明T-21	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53				600									3	
"	"	テニスコート照明T-22	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53				1200									3	
"	"	テニスコート照明T-23	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53				1200									3	
"	"	テニスコート照明T-24	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53				1200									3	
"	"	テニスコート照明T-25	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53				600									3	
"	"	テニスコート照明T-26	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53				600									3	
"	"	テニスコート照明T-27	"	金属(スチール)	H10	17年	18年	H27	b	"	低	予防	"	"	H53				600									3	
"	一般施設C	テニスコート練習コート壁	59m ²	RC造	H9	18年	50年	H27	b	躯体は健全な状態であるが、塗装のはがれが生じている。	低	予防	"	目地補修(シーリング)と壁面塗装を3年目(H30年)に実施する。	H69			253										10	
管理施設	土木構造物	コンクリート擁壁-4	3.9m ²	RC造	H9	18年	50年	H27	b	コンクリートの表面が劣化しており、豆板や鉄筋の露出が生じている。	低	予防	"	コンクリートの劣化を抑制する意味で、5年後以降に壁面の保護補修を実施する。また、豆板や鉄筋が露出している箇所については、早急にハンリの上モルタル等を塗る修繕を実施する。	H69						2	39						2	
"	"	コンクリート擁壁-5	24.0m ²	RC造	H9	18年	50年	H27	b	"	低	予防	"	"	H69				12	240								12	
"	"	コンクリート擁壁-6	150.8m ²	RC造	H9	18年	50年	H27	b	"	低	予防	"	"	H69				75	1508								75	
"	"	コンクリート擁壁-7	41.8m ²	RC造	H9	18年	50年	H27	b	"	低	予防	"	"	H69				21	418								21	
													計	0	0	253	7,200	1,310	2,205	0	0	0	153						

概算費用合計(千円): 11,121

※「公園施設種類」には、都市公園法第二条第二項で規定する施設名称を記す。「園路及び広場」、「修景施設」、「休養施設」、「遊戯施設」、「運動施設」、「教養施設」、「便益施設」、「管理施設」、「その他の施設」
 ※「公園施設名」には、都市公園法第二条第二項及び同法施行令第五条、同法施行規則第一条の二で規定する施設名称を記す。「日陰たな」、「休憩所」、「ベンチ」、「ぶらんこ」、「滑り台」、「野球場」、「体験学習施設」、「便所」、「備蓄倉庫」等